

〈2021 年度〉

生命保険講座「生命保険計理」

試 験 問 題【フォーム A】

● 注 意 事 項

1. 試験時間は 80 分です。
2. 試験問題は、全部で 50 問あります。《100 点満点》
 - 問題 1 から 20 は、語群の中から適切なものを選ぶ問題《各 1 点：20 点満点》
 - 問題 21 から 25 は、正しいものを 1 つ選ぶ問題《各 4 点：20 点満点》
 - 問題 26 から 30 は、誤っているものを 1 つ選ぶ問題《各 4 点：20 点満点》
 - 問題 31 から 40 は、正誤を選ぶ問題《各 1 点：10 点満点》
 - 問題 41 から 50 は、適切な組み合わせを選ぶ問題《各 3 点：30 点満点》

一般社団法人 生命保険協会

＜付表 1＞ 生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）

年齢	生存数	死亡数	死亡率	年齢	生存数	死亡数	死亡率
39	98,850	82	0.00083	62	94,282	390	0.00414
40	98,768	87	0.00088	63	93,892	409	0.00436
41	98,681	92	0.00093	64	93,482	428	0.00458
42	98,590	98	0.00099	65	93,054	450	0.00484
43	98,492	102	0.00104	66	92,604	477	0.00515
44	98,390	110	0.00112	67	92,127	510	0.00554
45	98,279	120	0.00122	68	91,616	552	0.00603
46	98,160	133	0.00135	69	91,064	602	0.00661
47	98,027	147	0.00150	↓	↓	↓	↓
48	97,880	163	0.00167	100	7,586.6	2,197.0	0.28959
49	97,717	178	0.00182	101	5,389.6	1,725.8	0.32021
50	97,539	192	0.00197	102	3,663.8	1,293.7	0.35310
51	97,347	205	0.00211	103	2,370.1	920.1	0.38820
52	97,141	219	0.00225	104	1,450.0	616.89	0.42543
53	96,923	234	0.00241	105	833.14	387.10	0.46462
54	96,689	248	0.00256	106	446.05	225.50	0.50554
55	96,441	260	0.00270	107	220.55	120.830	0.54785
56	96,181	273	0.00284	108	99.723	58.951	0.59115
57	95,908	288	0.00300	109	40.772	25.888	0.63494
58	95,620	303	0.00317	110	14.884	10.1008	0.67863
59	95,317	322	0.00338	111	4.7833	3.4515	0.72158
60	94,995	345	0.00363	112	1.3318	1.0162	0.76308
61	94,650	368	0.00389	113	0.3155	0.3155	1.00000

＜付表 2＞ 複利表（複利終価表）年 1.0% 複利現価表 年 1.0%

	期始払 終価	期央払 終価	期末払 終価	期始払 現価	期央払 現価	期末払 現価
1 年	1.010000	1.004988	1.000000	1.000000	0.995037	0.990099
2	1.020100	1.015037	1.010000	0.990099	0.985185	0.980296
3	1.030301	1.025188	1.020100	0.980296	0.975431	0.970590
4	1.040604	1.035440	1.030301	0.970590	0.965773	0.960980
5	1.051010	1.045794	1.040604	0.960980	0.956211	0.951466
6	1.061520	1.056252	1.051010	0.951466	0.946744	0.942045
7	1.072135	1.066815	1.061520	0.942045	0.937370	0.932718
8	1.082857	1.077483	1.072135	0.932718	0.928089	0.923483
9	1.093685	1.088258	1.082857	0.923483	0.918900	0.914340
10	1.104622	1.099140	1.093685	0.914340	0.909802	0.905287

* 元金 1 に対して

* 毎年の支払金額 1 に対して

〔生存率・生存数・平均余命・保険料計算〕

文中の空欄【 1 】～【 5 】に入る最も適切な数値を選んでください。

(1) <付表 1>の生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女) を用いて計算すると、

①60 歳の女子が 65 歳まで生存する確率は、【 1 】である。(解答は小数第 6 位四捨五入)

②40 歳の女子が 10 万人いる。10 年後に生存している人数は、【 2 】人である。(解答は小数第 1 位四捨五入)

③108 歳の女子の平均余命は、【 3 】年である。(計算過程および解答は小数第 3 位四捨五入)

(2) <付表 1>の生保標準生命表 2018 (死亡保険用) (女) の死亡数、<付表 2>の複利表・複利現価表 (年 1.0%) を用いて計算すると、

①保険金 300 万円、女子 55 歳加入の 1 年定期保険の純保険料の計算において、死亡者全員分に対して支払われる保険金総額の現価は、【 4 】千円である。(解答は千円未満四捨五入)

②純保険料は、【 5 】円である。(解答は 10 円未満四捨五入)

語群

ア. 0.97483

イ. 0.97957

ウ. 1.12

エ. 1.73

オ. 8,010

カ. 8,050

キ. 98,756

ク. 98,936

ケ. 772,277

コ. 776,129

【複利運用】

文中の空欄【 6 】～【 10 】に入る最も適切な数値を選んでください。

- (1) 元金 100 万円とした場合、
- ①月利率 0.1%、1 カ月複利で運用した場合の半年後の利息は、【 6 】円である。(解答は円未満四捨五入)
- ②年利率 1.2%、半年複利で運用した場合の 5 年後の元利合計額は、【 7 】円である。(解答は円未満四捨五入)
- (2) 名称利率 1.5%、転化回数 4 回により複利計算した場合、元金 1 の実利率は、【 8 】%である。(解答は小数第 3 位四捨五入)
- (3) 年利率 1.3%の複利で 5 年間運用した場合の年平均利回りは、【 9 】%である。(解答は小数第 3 位四捨五入)
- (4) 年利率 1.0%の複利で 3 年後(期末)に 200 万円を得ようとする場合、現在必要な資金は、【 10 】円である。(解答は円未満四捨五入)

語群

- ア. 1.06
- イ. 1.33
- ウ. 1.51
- エ. 1.89
- オ. 5,010
- カ. 6,015
- キ. 1,061,457
- ク. 1,061,646
- ケ. 1,921,962
- コ. 1,941,180

【事業年度末責任準備金】

文中の空欄【 11 】～【 15 】に入る最も適切なものを選んでください。

生命保険会社が事業年度末に積み立てる責任準備金は、事業年度末までに経過した期間に見合う保険料部分に対応する積立金（保険料積立金）、翌事業年度以降に対応する保険料部分（【 11 】）、第三分野における積立傷害保険等の積立型商品において、将来の満期返戻金支払いに対応する保険料部分（払戻積立金）および【 12 】に分けて計算することが、保険業法において定められている。

事業年度は、現在、【 13 】までの1年間であり、毎年度末に現存している契約（保有契約）に対して事業年度末責任準備金を計算する。

事業年度末責任準備金は、従来、年央和半方式によって計算されていたが、現在では、事業年度末の保険料積立金も含め責任準備金の評価において、各契約の個々の【 14 】に基づいて、年度末までに何カ月分の保険料が充当されたかを計算し、その限度における責任準備金を【 14 】ごとに計算する方式を採用する生命保険会社もある。

【 12 】については、「【 15 】」（実際の保険事故の発生率が通常の予測を超えることにより発生し得る危険）、「第三分野保険の【 15 】」、「予定利率リスク」（責任準備金の算出の基礎となる予定利率を確保できなくなる危険）および「最低保証リスク」（特別勘定を設けた保険契約であって、保険金等の額を最低保証するものについて、当該保険金等を支払うときにおける特別勘定に属する財産の価額が、当該保険契約が最低保証する保険金額等の額を下回る危険であって、当該特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険）に備えるものとされている。

語群

ア. 支払方法

イ. 危険準備金

ウ. 前払保険料

エ. 4月1日から翌年3月31日

オ. 環境リスク

カ. 異常準備金

キ. 未経過保険料

ク. 1月1日から12月31日

ケ. 契約月

コ. 保険リスク

【変額保険と定額保険の比較】

文中の空欄【 16 】～【 20 】に入る最も適切なものを選んでください。

変額保険の仕組み・運用について定額保険と比較すると、次の表のとおりである。

項 目		変額保険	定額保険
死亡・高度障害保険金		・特別勘定資産の運用実績により毎月1回変動する ただし、基本保険金額を保証する	・一定(配当による買増分等を除く)
満期保険金 (有期型の場合)		・満期時における積立金額(特別勘定資産の運用実績によって変動し、【 16 】)	・一定(配当による買増分等を除く)
特約による保険金・給付金		・一定(定期保険特約、災害・疾病関係特約など、特約は一般勘定で管理される)	・一定
解約返戻金		・特別勘定資産の運用実績によって毎日変動する(【 16 】)	・払込年月数等によって計算した所定の額
契約者 配当	利源	・死差益、費差益(利差益部分は【 17 】に反映される)	・利差益、死差益、費差益
	支払方法	・年単位の契約応当日から第6月目の末まで所定の利息を付して積み立て、第6月目末の積立金に充当する	・年単位の契約応当日に、現金支払い、保険料と相殺、利息を付して積み立て、または保険金買増しの保険料充当

資産の管理・運用	・特別勘定	・一般勘定
資産の運用対象	・国内・外の上場株式、公社債等の有価証券が主な運用対象	・預貯金、コールローン、有価証券、貸付金、不動産(全般)等
資産評価の時期	・【 18 】評価	・年度末決算など必要に応じて評価
運用リスクの帰属	・【 19 】	・【 20 】

語群

- ア. 最低保証がある
- イ. 生命保険会社
- ウ. 毎月1回
- エ. 基本保険金額
- オ. 証券会社
- カ. 変動保険金額
- キ. 毎日
- ク. 保険金受取人
- ケ. 契約者
- コ. 保証はない

＜ここからは正しいものを選ぶ問題です。＞

〔 21 〕 死亡保険金の現価について

女子 41 歳加入、保険期間 5 年、保険金 300 万円の養老保険の、5 年間に支払う死亡保険金の現価について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程および計算結果は千円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表 1＞の生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）の死亡数、＜付表 2＞の複利表・複利現価表（年 1.0%）を使用してください。

ア. 1, 525, 697 千円

イ. 1, 566, 000 千円

ウ. 1, 645, 106 千円

〔 22 〕 満期保険金の現価について

女子 41 歳加入、保険期間 5 年、保険金 300 万円の養老保険の、5 年後に支払う満期保険金の現価について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程および計算結果は千円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表 1＞の生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）の生存数、＜付表 2＞の複利表・複利現価表（年 1.0%）を使用してください。

ア. 279, 808, 073 千円

イ. 280, 187, 708 千円

ウ. 280, 527, 381 千円

〔 23 〕 予定事業費の現価について

女子 41 歳加入、保険期間 5 年、保険金 300 万円の養老保険の予定事業費の現価について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程および計算結果は千円未満四捨五入）。計算にあたっては、＜付表 1＞の生保標準生命表 2018（死亡保険用）（女）の生存数、＜付表 2＞の複利表・複利現価表（年 1.0%）を使用してください。なお、保険料払込免除のための保険料は考慮しないものとし、予定事業費率は保険金比例の予定新契約費（保険金千円につき 25 円）のみとします。

ア. 7,364,343 千円

イ. 7,394,250 千円

ウ. 7,401,075 千円

〔 24 〕 養老保険の年払保険料について

女子 41 歳加入、保険期間 5 年、保険金 300 万円の養老保険の年払保険料について、正しい数値を 1 つ選んでください（計算過程の収入は小数第 1 位四捨五入、支出は千円未満四捨五入、計算結果 10 円未満四捨五入）。

ア. 598,230 円

イ. 598,850 円

ウ. 599,620 円

〔 25 〕 払済保険金額について

男子 30 歳加入、保険期間 30 年、保険金 200 万円の養老保険で保険料払込（経過）年数が 10 年、この時点の解約返戻金が 572,000 円で、この契約を払済保険に変更した場合の払済保険金について、正しい数値を 1 つ選んでください（男子 40 歳加入、保険期間 20 年、保険金 200 万円の養老保険の一時払保険料は、1,563,720 円、予定利率は元契約と同じ 1.5%、予定新契約費はゼロ、維持費対千 2 円、計算結果は千円未満四捨五入）。

ア. 732,000 円

イ. 733,000 円

ウ. 753,000 円

＜ここからは誤っているものを選ぶ問題です。＞

〔 26 〕 営業保険料について

次の文章のうち、誤っているものを 1 つ選んでください。

ア. 付加保険料を計算するにあたり、予定事業費率をどのように定めるかについては、予定事業費率を保険金に比例させる方式、営業保険料（または純保険料）に比例させる方式、1 契約についての予定事業費を一定額とする方式、以上の方式を組み合わせる方式などがある。

イ. 1 件当たりの予定事業費を一定額とする固定方式では、保険金または純保険料が大きい契約ほど純保険料に対する付加保険料割合が高くなり、保険金または純保険料が小さい契約ほどその割合が低くなる。

ウ. 営業保険料の算定にあたって、保険種類によって異なる計算基礎（予定死亡率など）を用いたり、また他社との競争上、保険料率を調整したりすることがある。そのような場合、保険種類間でアンバランスが生ずることがあるので、状況に応じて調整を行う必要がある。

〔 27 〕 解約返戻金について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 解約返戻金は、契約者が保険期間の途中で保険契約を解約したときに支払われる。したがって、告知義務違反による保険契約の解除、保険金額の減額などのときには支払われない。

イ. 解約返戻金は、払い込まれる保険料から、毎年の保険金の支払いおよび契約の締結・維持に必要な諸経費を差し引いた残額として、個々の契約についてあらかじめ定められた金額（約定価格）である。

ウ. 現在、国内で採用されている解約返戻金の一般的な算式（個人保険の代表的なもの）は、次のとおりである。
解約返戻金＝（解約までの経過期間に応じた純保険料式保険料積立金）
－（保険料払込中の場合、その経過期間に応じた保険金比例の一定額）

〔 28 〕 契約変更について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 延長保険は、保険料払込期間中に保険料の払い込みが困難となった場合、保険金額は元契約のままで（契約上の貸付金がある場合には、その元利金を差し引いた金額を新たな保険金額とする場合もある）、そのときの解約返戻金（契約上の貸付金がある場合には、その元利金を差し引いた残額）を、定期保険の一時払保険料（新契約費は組み込まない）に充当して、死亡保障の存続（延長）を図る方法である。

イ. 延長保険は、満期時まで続いてなお解約返戻金（保険料積立金）の残額があったとしても、残額の払い戻しはない。

ウ. 保険料の払い込みが困難となった場合の契約継続のための救済方法として、保険料払込期間の延長や保険料自動振替貸付制度等がある。

〔 29 〕 剰余金の発生源について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 死差益は、実際死亡率が予定死亡率よりも低い場合に生ずる剰余（利益）であり、経過年数が短い契約は通常、死差益が少ないが、経過年数が増すにつれて危険選択の効果により、死差益は多くなる。

イ. 利差益は、「利差益＝（実際利回り－予定利率）×責任準備金の総額」という式で表すことができる。利差益は責任準備金に比例するので、貯蓄性の強い保険、養老保険などについては、契約初期は少なく、経過年数が長くなるほど多くなる。

ウ. 費差益は、実際の事業費が予定事業費（付加保険料）よりも少ない場合に生ずる剰余（利益）である。契約当初の初年度は一般に新契約費がかさむので、純保険料式で評価した場合には費差損を生ずることが多く、経過年数が深まるにつれて費差益が生じやすくなる。

〔 30 〕 団体年金保険の数理について

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 年金制度の主な財政方式として、積立水準の低いものから高いものへ順に並べると、例えば完全賦課方式、一時払積増方式、そして即時積立方式になる。

イ. 年金制度の財政を維持するための保険料は、一般に、通常保険料と特別保険料とに分けられる。主として将来勤務に関連して生ずる費用は通常保険料とし、過去勤務に関連して生ずる費用は特別保険料として積み立てるのが一般的である。

ウ. 年金制度発足後に生じた後発債務は、年金財政の決算の結果計上される不足金やあらかじめ基礎率として織り込まれていない脱退事由の発生による不足金等と異なり、通常保険料によってまかなわれる。

<ここからは正誤を選ぶ問題です。>

31【契約年齢】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

契約年齢の計算方法には「保険年齢方式」と「満年齢方式」があるが、「満年齢方式」では被保険者の年齢を（ $x + 0.5$ ）歳として保険料率を計算するため、一般に「保険年齢方式」よりも各年齢で保険料が高くなる。

正

誤

32【平準保険料】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

平準保険料とは、毎年保険料を一定額として、1年ごとの比較では各年の保険料収入が保険金支払に見合わなくても、保険期間が満了した際に全体の収支がつりあうように計算された保険料である。

正

誤

33【予定利率】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

予定利率は、以前は、長期の契約の予定利率を短期の契約よりも低めの、保守的な水準に設定する生命保険会社もあったが、現在では多くの生命保険会社で保険期間によらず保険金額に応じて予定利率を定めている。

正

誤

34【分割払営業保険料】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

1年分を何回かに分けて払い込む分割払営業保険料の年間払込額が年払の営業保険料額を上回るのは、①分割払のために保険料払込みが遅れるための利息の損失（年払保険料の場合に比べて年間の予定利息分は少なくなる）、②集金回数（払込回数）の増加に伴う事業費の増加、のためである。

正

誤

35【責任準備金積立根拠】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

保険料が自然保険料方式で計算されている場合、平準保険料方式と同様、毎保険年度末に将来の保険金支払いに備えて責任準備金を積み立てる必要はない。

正

誤

36【契約転換制度】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

契約転換制度は、既契約を解約して再契約する場合に比べ、新契約費の負担が一般に少なく済むが、転換前契約の特別配当の権利は継承されない。

正

誤

37【その他の損益】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

価格変動損益は、有価証券および動産・不動産の売却益と評価益の合計額から、それら財産の売却損と評価損の合計額を差し引き、さらに保険業法によって価格変動準備金として積み立てる額を加算したものである。

正

誤

38【契約者配当の意義と性格】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

契約者配当金は、予定の保険費用（営業保険料）と実際に要した保険費用（実質保険料）との差額を調整するために、発生した剰余金を一定の基準で各契約に割り当てて分配するもので、過払いの保険料の割戻しに相当する性格をもつ。

正

誤

39【配当金支払方法】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

契約者配当金の分配・支払方法のうち保険料と相殺する方法では、契約応当日に始まる保険年度について、配当金を保険料払込回数に等分して、毎回の保険料に充当、相殺するが、配当金が保険料を上回る場合は、その上回る部分について現金払い、利息を付けて積み立てる。なお、保険年度の途中で消滅する契約の配当金は、保険料と相殺されないため支払いの対象とならない。

正

誤

40【リスクヘッジ】

次の文章について、正しい場合には「正」、誤っている場合には「誤」を選んでください。

特別勘定の選択は契約者の自己責任であり投資のリスクは契約者が負担するが、最低保証部分のリスクは生命保険会社が取らなければならない。

正

誤

<ここからは適切な組み合わせを選ぶ問題です。>

41【死亡率】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

実際の人口統計に基づく死亡率を (A) 粗死亡率 と呼ぶのに対し、(B) 補整 によって求められた死亡率を (B) 補整後死亡率 と呼んで区別している。

ア. A－単純

イ. A－素

ウ. B－平均

エ. B－分類整理

オ. C（A・Bともに正しい）

42【死亡表の種類】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

死亡表の種類のうち、国民あるいは特定地域の人口を対象として、その人口統計による死亡状況を表したものを(A) 国民生命表という。また、正確な人口統計に基づき精密に算定された各年齢ごとの死亡率を表示したものを(B) 経験生命表という。

- ア.** A－総合表
- イ.** A－選択表
- ウ.** B－簡易生命表
- エ.** B－完全生命表
- オ.** C（A・Bともに正しい）

43【資産の平均利回り】

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

資産の年間平均利回りを概算する公式に(A) ハーディの公式があるが、資産の増減が年間を通じてほぼ一様になっていない場合には、この公式を用いることは適切ではない。この欠点を避けたものとして(B) 平均残高方式が用いられるようになった。

- ア.** A－相互扶助
- イ.** A－チルメル
- ウ.** B－超過資産加算方式
- エ.** B－一時払積増方式
- オ.** C（A・Bともに正しい）

44 [純保険料の変化]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

保険料の計算基礎のうち、予定利率を変えずに予定死亡率を高くすると、定期保険と養老保険の純保険料は (A) 低くなる。また、予定利率、予定死亡率をともに低くすると、生存保険の純保険料は (B) 高くなる。

ア. A－変わらない

イ. A－高くなる

ウ. B－変わらない

エ. B－低くなる

オ. C (A・Bともに正しい)

45 [保険計理の基礎]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

同一性・同一年齢の多数の加入者が同じ種類の死亡保険に加入すると (A) 射倖性 の法則によって、全保険期間にわたって加入者の死亡状況が推定でき、その死亡者数と運用によって得られる利息を考慮したうえで、収入保険料総額と支出する保険金（および諸経費）総額との収支のバランスを図る原則を (B) 収支相等 の原則という。

ア. A－大数

イ. A－ベスティング

ウ. B－衡平性

エ. B－相互扶助

オ. C (A・Bともに正しい)

46 [チルメル式保険料積立金]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

チルメル式保険料積立金は、新契約費を考慮して (A) 初年度 の純保険料（ (B) 危険保険料 ）を純保険料式より少なくしてあるので、純保険料式に比べて (A) 初年度 の積立金はその分に応じて低くなる。

ア. A－毎年

イ. A－2年目以降

ウ. B－貯蓄保険料

エ. B－死亡保険料

オ. C（A・Bともに正しい）

47 [危険保険料の計算]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

危険保険料の一般的な計算式は、次のとおりである。

危険保険料 ＝ （ (A) 年度末保険料積立金 ） × （年間死亡者数／年始生存者数） × （ 1 ／ (B) （ 1 ＋ 予定利率 ） 1 / 2 乗 ）

ア. A－危険保険金

イ. A－死亡保険金

ウ. B－（ 1 ＋ 予定利率 ） 1 / 12 乗

エ. B－（ 1 ＋ 予定利率 ）

オ. C（A・Bともに正しい）

48 [配当準備金繰入]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

社員配当準備金等への繰り入れについては、保険業法において、剰余金から基金利息、損失てん補準備金および基金償却積立金への繰入額等を控除した金額の一定比率以上を積み立てることを (A) 保険料及び責任準備金の算出方法書 に定め、その比率が内閣府令で定める比率（保険業法施行規則により (B) 20% とされている）を下回ってはならないことが定められている。

- ア.** A－定款
- イ.** A－保険約款
- ウ.** B－50%
- エ.** B－80%
- オ.** C（A・Bともに正しい）

49 [アセット・シェア方式]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

配当金の割当方法のうちアセット・シェア方式は、(A) 契約年度別 に保険期間、年齢など契約条件を同一とする代表的契約について、実際の死亡率、利率、事業費率、継続率等に基づく各保険年度別のモデル収支計算を過去法的に行い、その収支残と (B) 年度末責任準備金 とを比較して、その差額を基準に配当額を決定する方法である。

- ア.** A－保険種別
- イ.** A－年齢群団別
- ウ.** B－保険年度末責任準備金
- エ.** B－年度始責任準備金
- オ.** C（A・Bともに正しい）

50 [団体定期保険の保険料]

次の文章について、下線部AまたはBのいずれかが誤っている場合と、A・Bともに正しい場合とがあります。AまたはBのいずれかが誤っている場合は、誤っている記号と代わって入るものが最も適切な組み合わせを選択してください。A・Bともに正しい場合は、記号Cを選択してください。

団体定期保険において、所定の条件を満たしている優良被保険団体については、(A) 更新時 の保険料率算定にあたって、(B) 付加保険料 を一定の範囲内に軽減した特別の保険料率を適用することができる。

ア. A－新契約時

イ. A－追加加入時

ウ. B－純保険料率

エ. B－総保険金額

オ. C（A・Bともに正しい）

